

平成28年度山梨県学力把握調査結果の概要

山梨県教育庁義務教育課

I 全体の概要

1 調査の目的

節目の学年における児童生徒の学習の定着状況を把握するため、調査を実施し、調査結果の分析をとおして、早い段階から学習内容の不十分な理解を解消するなど、きめ細かな指導に役立てる。また、授業における指導方法や学校、家庭、地域における学習環境の改善に資する。

2 調査の対象等

区分	小学校第3学年	小学校第5学年	中学校第2学年
対象教科を実施した児童生徒数	6563人	6740人	6962人
対象教科	国語・算数	国語・算数	国語・数学・英語
調査問題の範囲	小学校第2学年までに学習した内容	小学校第4学年までに学習した内容	中学校第1学年までに学習した内容

3 調査の日時

区分	小学校	中学校
実施日	4月19日(火)から4月22日(金)までのうち、いずれか都合のよい1日を選んで実施	
調査教科 (実施時間)	国語(40分)	国語(45分)
	算数(40分)	数学(45分)
	—	英語(45分)

4 各教科の主な結果

校種・学年・教科	平均正答数/設問数	平均正答率	中央値	標準偏差
小・3・国語	18.5/23	80.5%	20	3.82
小・3・算数	16.1/21	76.6%	17	3.92
小・5・国語	15.6/23	67.9%	16	3.64
小・5・算数	16.9/23	73.6%	18	4.28
中・2・国語	16.6/23	72.0%	17	3.89
中・2・数学	18.2/30	60.8%	19	6.81
中・2・英語	22.2/33	67.2%	23	7.51

5 全体的な傾向の分析・考察

今回の調査において、各教科において課題となる領域や設問形式が明らかになった。

- ・国語については、小中ともに、「読むこと」の領域において課題が見られた。
- ・算数・数学については、小中ともに、「数学的な見方や考え方」の領域に課題が見られた。
- ・英語については「読むこと・書くこと」の領域に課題が見られた。

今後、各学校では、正答率の低い設問や誤答に特徴が見られる設問について分析を行い、課題の解消に向けた授業改善プランを作成し、実践を進めていく。

① 設問ごとの比較

① 集計結果表

① 集計結果

① 学校集計結果

	対象数(人)	平均正答数	平均正答率
本校	82	19.2	72.8
山梨県	6142	16.1	76.6

実施年度
学年教科

H28
小3算

学校番号
学校名

〇〇市立 〇〇〇小学校

① 分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
			本校	山梨県
学習指導要領の領域等	数と計算	12	77.8%	80.1%
	図と測定	4	48.0%	54.0%
	図形	3	86.7%	76.0%
	数量関係	6	71.2%	73.9%
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	-	-	-
	算学的な考え方	3	86.6%	74.0%
	数量や図形についての理解	12	76.8%	78.5%
	数や図形についての知識・理解	6	69.8%	75.2%
問題形式	選択式	6	89.1%	76.0%
	短答式	14	77.3%	79.2%
	記述式	1	27.4%	34.5%

領域・観点・問題形式別に
県と本校を比較

① 設問別集計結果

システム番号	設問番号	出題の要素	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点		問題形式		正答率(%)		無解答率(%)	
				数と計算	図形	図と測定	数量関係	算数への関心・意欲・態度	算学的な考え方	数量や図形についての理解	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	本校
1	1(1)	52+7 を計算する	繰り上がりのない加法の計算をすることができる	○				○		○		96.8	96.4		0.1
2	1(2)	76+38 を計算する	繰り上がりが2回ある加法の計算をすることができる	○				○		○		87.1	85.8		0.2
3	1(3)	269-23 を計算する	繰り下がりのない減法の計算をすることができる	○				○		○		91.9	88.0		0.4
4	1(4)	104-85 を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる							○		85.5	52.1		0.5
5	1(5)	6×8 を計算する	乗算の計算をすることができる							○		91.9	95.4		0.1
6	2(1)	680は、10が何個集まった数かを調べよ	680は、10が何個集まった数かを調べよ							○		87.1	52.2		0.8
7	2(2)	680は、いくつより20小さい数かを調べよ	680は、いくつより20小さい数かを調べよ	○				○		○		75.8	76.7		2.1

設問ごとに、正答率や無解答率を本校と県で比較する。

② 解答類型

② 設問別解答類型調査結果

実施年度 H28
学年教科 小3算

(各項目の上段が本校、下段が県の値)

設問番号	出題の要素	出題の趣旨	解答類型 (割合%)									無解答		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	1(1)	52+7 を計算する	96.8											
2	1(2)	76+38 を計算する	87.1	3.2										
3	1(3)	269-23 を計算する	91.9											
4	1(4)	104-85 を計算する	85.5	3.2										
5	1(5)	6×8 を計算する	91.9	3.2										

設問ごとに、誤答の類型を調べ、つまづきを把握する。

7

算数の教科書1さつのあつさに いちばん ちかい長さは、どれですか。下のアからエまでのの中から1つえらんで、その記号を書きましょう。

記号

(14)

ア 5mm イ 5cm ウ 50cm エ 5m

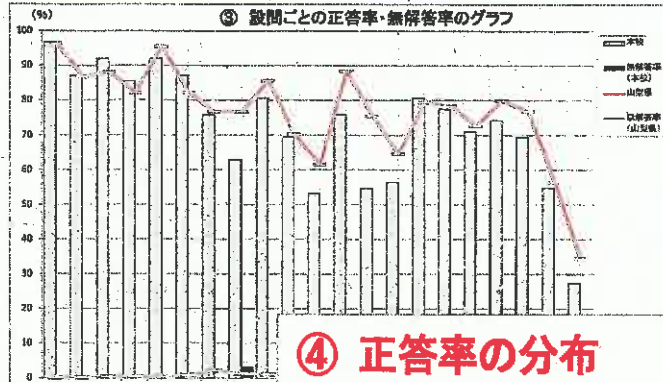
6	2(1)	680は、10が何個集まった数かを調べよ	3.8	7.4	2.8	88.3	1.4	0.4											
7	2(2)	680は、いくつより20小さい数かを調べよ	1.8	54.8	14.5	4.8	11.3	6.5											
8	3(1)	数直線上に示された、1000を10等分したところを調べよ	0.3	75.4	10.3	1.2	7.7	3.1											
9	3(2)	数直線上に示された、2000より大きい数を調べよ																	
10	4	1辺2cmの正方形2つと、縦3cmの長方形を合わせてできる箱の形を選ぶ	56.5	22.6	6.7	4.8													
11	5	示された時刻の時刻を読み取り、時刻を読み取る	64.6	19.5	6.8	4.9													
12	6(1)	1辺が3cmの正方形を選ぶ	9.7	1.6	3.2	80.6													
13	6(2)	3cmの辺と4cmの辺の間に、直角の角がある直角三角形を選ぶ	12.1	3.1	2.1	79.4													
14	7	算数の教科書の厚さを選ぶ	77.4	8.1	1.6														
15	8	好きな果物調べのグラフを見て、正しい記述を選ぶ																	
16	9(1)	パンを7こ買う代金を示した図を読み取り、2個入りの袋に入っている数を調べよ																	

調査結果概況 ③ 設問毎の正答率グラフ

実施年度 H28
学年教科 小3算

区分	検査人数	平均正答数/総問数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
本校	62	15.2 / 21	72.4	17	4.49
山梨県	6148	16.1 / 21	76.9	17	3.92

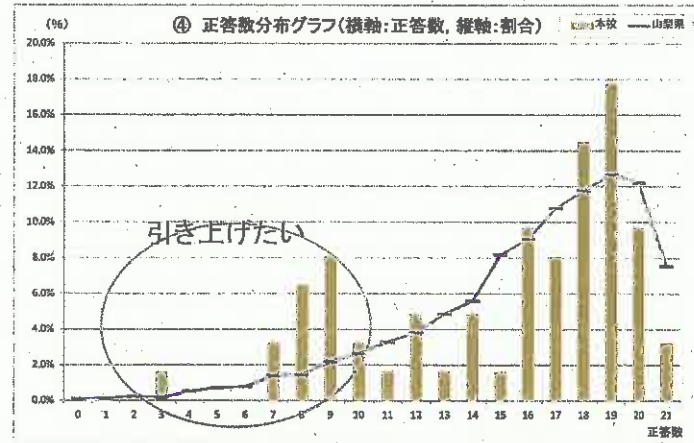
問	正答率(%)		解読率(%)	
	本校	山梨県	本校	山梨県
1	75.0	86.8	96.4	0.0
2	87.1	88.8	0.0	0.2
3	71.3	91.9	88.0	0.0
4	85.0	82.1	0.0	0.5
5	72.4	81.9	85.4	0.0
6	87.1	82.2	0.0	0.8
7	78.8	78.7	0.0	2.1
8	82.0	78.7	3.2	1.3
9	80.6	85.8	0.0	1.1
10	89.4	70.2	0.0	1.0
11	53.2	81.2	0.0	1.7
12	75.8	88.3	1.8	0.9
13	64.9	75.4	0.0	1.0
14	58.5	84.8	0.0	0.8
15	90.6	79.4	0.0	1.0
16	72.4	78.3	0.0	1.5
17	71.0	72.6	0.0	1.8
18	74.2	79.8	0.0	1.8
19	89.4	78.8	1.8	2.0
20	54.8	50.5	1.8	4.9
21	87.4	84.9	8.9	13.2



学校で

- 授業改善に
- ・改善プラン
 - ・一校一実践
 - ・一人一実践
 - ・ピックアップ問題

④ 正答率の分布



正答数	本校		山梨県	
	割合	人数	割合	人数
0	0.0%	0	0.1%	4
1	0.0%	0	0.1%	8
2	0.0%	0	0.2%	14
3	1.6%	1	0.2%	12
4	0.0%	0	0.5%	32
5	0.0%	0	0.7%	43
6	0.0%	0	0.8%	48
7	3.2%	2	1.4%	85
8	6.5%	4	1.4%	88
9	8.1%	5	2.3%	133
10	3.2%	2	2.6%	161
11	1.6%	1	3.3%	202
12	4.8%	3	3.8%	236
13	1.6%	1	4.8%	289
14	4.8%	3	5.6%	343
15	1.6%	1	5.2%	592
16	9.7%	6	9.1%	566
17	8.1%	5	10.8%	682
18	14.5%	9	11.8%	723
19	17.7%	11	12.7%	779
20	9.7%	6	12.2%	780
21	3.2%	2	7.5%	483

⑤ 個人別資料

個人の結果 平成28年度 山梨県学力把握調査 個人結果

実施年度 H28
学年教科 小3算

学校番号 学校名 個人番号

※本人の結果 正答「○」、誤答「×」、無解答「-」

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点				本人の結果
			算数への関心・意欲・態度	算学的な考え方や表現の仕方	数学的知識・技能	問題や図形についての知識	
1(1)	52+7 を計算する	くり上がりのないたし算の計算をすることができる			○	○	
1(2)	76+38 を計算する	くり上がりが2回あるたし算の計算をすることができる			○	○	
1(3)	259-23 を計算する	くり下がりのないひき算の計算をすることができる			○	○	
1(4)	104-85 を計算する						
1(5)	6×8 を計算する						
2(1)	680は、10が何こ集まった数か						
2(2)	880は、いくつより20小さい数か						
3(1)	数直線上に示された、1000をきざり取る						

家庭へ

個人結果とワンポイントアドバイスを各家庭へ配布

平成28年度山梨県学力把握調査 小学校第3学年 算数 c 出題のねらい(児童・保護者向け)

問題番号	正答	出題のねらい	教科書 関連ページ
1(1)	59	くり上がりのないたし算の計算をすることができるかどうかをみています。 たし算やひき算の筆算をするとき、同じ位の数がそろっているか注意しましょう。問題のような計算では、たす数の「7」は、一の位の数字ですから、十の位は空けて、たされる数の一の位の「2」の下にそろえて書きます。筆算するときには、ノートのみす目を使ったり、じょうぎを使って線を引いたり、ていねいに数や線を書くようにしましょう。	2年上 p9~12

ワンポイント
アドバイス

$$\begin{array}{r} 52 \\ + 7 \\ \hline 59 \end{array}$$

○授業改善プランの作成

授業改善への具体的な取組（6月）

- ・各学校の課題を明確にし、課題改善に向けての方策を立てる。
- ・授業実践では、指導と評価を繰り返し、授業改善や個に応じた指導の充実を図る「授業レベルでのPDC Aサイクル」を確立する。

授業改善プラン【構形北小学校・算数】

□ 本校の課題

- ・図形についての知識・理解、作図技能に課題がある。
- ・問題解決に、図形の知識及び技能を活用して、事柄を判断したり、判断したことを表現したりすることに課題がある。

○ 改善に向けての方策

- ・図形を操作する活動によって体系的な理解をさせるとともに、操作しながら思考し、説明させる活動を重視する。①既習事項を想起させる ②全員に操作活動をさせる ③学力下位層への手立てとして、教材・教員の準備や学習形態の工夫を行う ④交流場面を設定する ⑤適用問題を設け、学習状況を把握する

◆ 具体的な取組（課題の構想）
（第2学年）

1 改善する単元 「この形」（全6時間）

2 改善内容と方法
立方体の展開図をつくる活動を通して、二つの合同な長方形の三辺で構成されていることを発見したり、面と面どうしのつながりや位置関係について理解を深めたりする

(1) **課題把握（つかむ）**の工夫

- ① 活動を取り入れられるような課題を設定する。
- ② 実際に立体図形に触れたり、似えたりする活動を通して、課題を解決しやすくする。

(2) **自力解決（考える）**における工夫

- ① 立体や図形を用意し、活動の時間を確保する。
- ② 実際に立体図形に触れ、観察の活動をする中で、理解と思考を深めさせたい。そのため、試行錯誤する活動の時間を確保する。

(3) **交流場面（学び合う）**の工夫

- ① 自分の考えを説明させる。友だちの考えを聞き、自分の考えと比べさせる。
- ② 考えを交換する場面では、長尺紙を使って自分の考えを整理し、友だちと協力しながら、課題を解決させる。また、誤答例を示すことで正解と比較させ、考えを深めさせる。

(4) **ふりかえり（ふりかえり）**の工夫

- ① 適用問題を扱うことで、学習内容の理解を深め、児童の理解度を把握する。
- ② 学習をふりかえる場面では、学習感想を完結させる。今日学んだことを確認し、自分の目標でまとめさせたり、分かったこと、気付いたことを言かせたりする。

3 授業計画（全6時間）

時	目標	学習活動	おもな評定要素
1	○プロローグ ・ブランクボックスからいろいろな形の箱を見ないで取り出す活動を通して、箱の形をした図形への興味・関心を高めるようにする。		
2	○箱の形（立方体や立方体）に注目し、立体と平面の関係を知り、その面の形や数を数えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・箱の作り方について考える。 ・用紙「面」を切る。 ・立方体の面を紙に写し取る。 ・紙に写し取った箱の面の形や数を数える。 ・紙に写し取った箱の面の形や数を数える。 ・立方体、立方体の形を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・箱の形に心をもち、その特徴について話そうとしている。 ・図形の形について、面は、6つの長方形や正方形で、向かい合った面は合同であることなどを理解している。
3	○箱をひらきみる活動をを通して、面と面のつながりや向きを把握することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・箱をひらきみる。（立方体） ・6つの長方形を切って、同じ長さの辺や向かい合った面を注目してつながり方を考える。 ・6つの面をつないで組み立てても構わない場合について、その理由を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形と長さの辺や向かい合った面の関係や向きを捉え、面のつながり方を考え、説明している。
4	○立方体や立方体の組、頂点のつながりや構成要素を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> ・箱の形を紙に写し取るために必要な「面」の長さや本数と頂点（頂点）の数を調べる。 ・1つの頂点には、辺が3本つながることをとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・箱の形（立方体、立方体）には、辺が12、頂点が8つあることなど、図形の構成要素を把握している。 ・面ごとの向きを用いて箱の形を構成することができる。
まとめ 1時間	○学習内容の定着を確認し、理解を深めさせる。	・「しあが」の問題に取り組み。	○基本内容や学習内容を身に付けている。

◆ 授業を支える取組

1 思考力・表現力を育てるための授業づくり

- (1) 学び合う（考えを交換し合う）活動づくり
- (2) 思考力・表現力を育てるノート指導の実践
- (3) 自力解決が困難な児童への手立て（役割の仕方）

2 学び合える環境づくり

- (1) 手帳内にルールとマナーを確立する
 - ① 単元の分析と活用
 - ② 現在担任シートと学習づくりシートの作成
- (2) 生活規律、学習規律の共通指導と系統的指導
 - ① 全校一斉方式ソーシャルスキル教育（ソーシャルスキルカレンダー・全校SST）
 - ② 学習スタンダードの取組（学習規範）

3 学びを支える習慣づくり

- (1) 家庭学習の習慣化（復習ノートの取組 3～6年）
- (2) 家庭への啓蒙（家庭学習の手引きの作成配布・学校だよりの発行）
- (3) 読書活動の推進と読書関連図書の実施

○平成28年度山梨県学力把握調査に関わるアンケート（8月）

- ・調査の実施、調査問題・調査結果の活用状況について、アンケート調査を行う。

○指導主事による学校訪問

- ・指導主事は、各学校が学力調査の結果をもとにしたPDC Aサイクルを確立するなどの「組織的な対応と取組」をしているかどうか把握し、授業観察や研究会での様子などをふまえ、適切な指導を行う。

○ピックアップ問題への取組（11月）

- ・ピックアップ問題の結果を分析し、児童生徒の解答に改善が見られないものがあれば、さらなる改善策を検討し、実践する。

○平成28年度山梨県学力把握調査 ピックアップ問題実施アンケート（3月）

- ・ピックアップ問題を実施することによって見えてきた課題や、来年度に向けての授業改善の方向性等について、アンケート調査を行う。

○取組を評価する（H29年4月）

- ・次年度の全国学力・学習状況調査、県学力把握調査でチェックする。

平成27年度山梨県学力把握調査 小学校第5学年算数 ピックアップ問題

① 次の計算をして、答えを書きなさい。

(1) $\frac{5}{9} - \frac{1}{4}$ (2) $\frac{6}{8} + 7$

② 5.9 - 0.78 のおおよその答えとしてふさわしいものを、下のアからエまでの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

ア 0.1 イ 1 ウ 0.8 エ 8

③ つとむさんたちは、バスに乗っての運動会に行くことにしました。下の表は、乗車するバスの時刻表の1ページです。

乗車時刻	乗車人数
7:30	20
8:10	30
9:10	25
10:10	28

つとむさんには、乗車7時30分です。その日のバスは、平常日時10分です。

平成27年度山梨県学力把握調査 小学校第5学年算数 ピックアップ問題 ワンポイントアドバイス

※最も大切な問題は、「チェック」のらんの□に「レ」をつけ、とき方を見なおしましょう。

問題番号	まちがえしたことにチェック	正解	ワンポイントアドバイス	教科書掲載ページ
①	□	<p>正解 $\frac{11}{36}$</p> <p>同じ大きさを決めた分母、分子の数をかけて通分してみましょう。分母が6であっても、同じ大きさの分母がいくつもあることが分かります。分母のちがう分母のたし算やひき算は、通分してから計算します。</p> <p>ここでは、おのれのように、分母の8と9の公倍数72を分母とする分母に直すことで、分母の同じ分母のたし算での計算と同じように計算することができるようになります。</p>	<p>8 5 下 20 - 5 算5年上 p111・112</p>	

【参考】

平成27年度調査

校種・学年・教科	平均正答数／設問数	平均正答率	中央値	標準偏差
小・3・国語	18.6／23	80.7%	20	4.19
小・3・算数	17.0／21	80.8%	18	3.31
小・5・国語	16.6／23	72.4%	17	3.73
小・5・算数	18.0／23	78.5%	19	3.92
中・2・国語	15.9／23	69.3%	16.5	3.82
中・2・数学	19.0／30	63.4%	20	6.64
中・2・英語	24.0／33	72.7%	25	6.89

平成26年度調査

校種・学年・教科	平均正答数／設問数	平均正答率	中央値	標準偏差
小・3・国語	18.4／23	80.0%	19	3.64
小・3・算数	16.1／21	76.5%	17	3.53
小・5・国語	16.4／23	71.2%	17	4.11
小・5・算数	16.7／23	72.8%	17	3.99
中・2・国語	15.3／23	66.7%	16	4.18
中・2・数学	17.0／30	56.7%	18	6.49
中・2・英語	21.7／33	65.7%	22	7.36

平成25年度調査

校種・学年・教科	平均正答数／設問数	平均正答率	中央値	標準偏差
小・3・国語	18.4／23	80.0%	19	3.65
小・3・算数	15.5／21	73.8%	16	3.43
小・5・国語	13.2／23	57.3%	14	5.13
小・5・算数	16.8／23	73.0%	17	3.68
中・2・国語	16.3／23	70.9%	17	3.91
中・2・数学	20.4／30	67.9%	21	5.51
中・2・英語	22.4／33	68.0%	24	6.86

平成24年度調査

校種・学年・教科	平均正答数／設問数	平均正答率	中央値	標準偏差
小・3・国語	17.8／23	77.3%	19	3.70
小・3・算数	16.9／21	80.5%	17	2.96
小・5・国語	16.6／23	72.4%	17	3.71
小・5・算数	18.6／23	81.0%	19	3.18
中・2・国語	15.4／23	66.9%	16	4.07
中・2・数学	19.5／30	65.0%	20	7.37
中・2・英語	22.2／33	67.3%	23	7.44

平成23年度調査

校種・学年・教科	平均正答数／設問数	平均正答率	中央値	標準偏差
小・3・国語	17.7／23	76.8%	18	3.73
小・3・算数	17.2／21	81.7%	18	3.20
小・5・国語	16.7／22	75.9%	17	3.21
小・5・算数	17.0／23	74.1%	18	4.02
中・2・国語	17.1／23	74.4%	18	3.31
中・2・数学	18.6／30	62.0%	19	6.74
中・2・英語	22.3／30	74.5%	24	6.35

※ 各設問の解答結果から見られる児童生徒の学習の定着状況の実態を把握することが、本調査の目的である。実施年度や教科、学年の平均正答率等を比較することは、調査の目的や、各調査問題の難易度等の相異からも適当ではない。

II 各教科の分析・考察

<p>小学校 3年 国語</p>	<p>「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」における漢字の構成や、意味による語句のまとまりに関する設問については、相当数の児童ができている。</p> <p>一方、自分の考えをまとめるために文章に書かれている大事な言葉や文を書き抜くこと、話し合いのはじめに、話し合う内容や話題を確かめること、文の中における主語と述語との関係を理解することに課題がある。</p> <p>今後、物語や科学的なことについて書いた文や文章を読んで感想を書く学習や、流れに沿って話し合いグループで考えを一つにまとめる学習や、書くことにおける指導の中で主語と述語を意識させる学習を充実させる必要がある。</p>
<p>小学校 3年 算数</p>	<p>「数と計算」の計算に関する設問については、相当数の児童ができている。</p> <p>一方、領域では、「量と測定」、評価の観点では、「数学的な考え方」において課題がある。設問ごとに見ると、算数の教科書の厚さを選ぶ長さの感覚に関する問題、問題場面を読み取り、示された式を基にして、理由を説明する問題の誤答が多く見られる。</p> <p>体験を伴う活動から量の感覚を身に付けたり、問題場面と式、言葉を関連付けて、自分の考えを表現したりする活動等を重視する必要がある。</p>
<p>小学校 5年 国語</p>	<p>「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」における同訓異字や漢字の意味を熟語に合わせて理解することに関する設問については、相当数の児童ができている。また、指示語が指し示す言葉を捉えることに改善の傾向が見られる。</p> <p>物語を読み目的に応じて引用しその理由をまとめること、メモをもとに質問すること、修飾と被修飾との関係を正しく捉えることに課題がある。</p> <p>今後、目的や必要に応じて引用したり要約したりする学習や、メモを活用して話したいことや聞きたいことを明確にする学習や、書くことにおける推敲の指導の中で文の構成の間違いを正す学習を充実させる必要がある。</p>
<p>小学校 5年 算数</p>	<p>「数量や図形についての技能」については、相当数の児童ができている。</p> <p>一方、領域では、「図形」、評価の観点では、「数学的な考え方」において課題がある。設問ごとに見ると、図形の特徴に基づいた作図に関する問題、示された条件から必要な事柄を取り出し、筋道立てて理由を説明する問題の誤答が見られる。</p> <p>作図の技能を身に付けるだけでなく、図形の特徴に基づいた作図の仕方を理解することが求められる。また、過不足なく筋道立てて理由を説明する活動を取り入れる必要がある。</p> <p>なお、正答率は高い数値を示しているが、特徴のある誤答がみられる。誤答の類型を見て、指導の手だてを考えていくことも大切である。</p>
<p>中学校 2年 国語</p>	<p>「話すこと・聞くこと」については正答率が高い。記述式の設問では、設問数が増えたが無解答率が低く、改善の傾向が見られる。</p> <p>一方、「読むこと」や「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で課題が見られる。「読むこと」では、説明的文章において、内容を正確に読み取り、構成を捉えることに課題がある。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、修飾語と被修飾語の照応を捉えることに課題がある。</p> <p>文章の構成や展開、表現の特徴などについて分析的に捉えたり、各領域を通して、文の成分の照応について考えたりする学習活動に継続して取り組む必要がある。</p>
<p>中学校 2年 数学</p>	<p>記述式の問題において、正答率は58.3%と決して高い数値ではないが改善の傾向が見られ、無解答率も低く、自分の考えを記述しようとする様子が見られる。</p> <p>設問ごとでは、数量を文字を使った式で表すこと、具体的な事象における2つの数量の関係が比例であると捉えること、辺の長さから表面積を求めることや球の体積を求めることに課題がある。</p> <p>今後、具体的な事象等における数量の関係を捉える活動や、実験や実測、観察を通して立体の体積・表面積を求める活動等を取り入れる必要がある。</p>
<p>中学校 2年 英語</p>	<p>「言語材料」において、小学校外国語活動で慣れ親しんだ表現や基礎的な言語材料についての問題は相当数の生徒ができています。また、「書くこと」において、単純に比較はできないが、身近な事柄について、ある程度の量の英文を書く問題では改善の傾向が見られる。</p> <p>一方、設問ごとでは、英文を読んで大切な部分を正確に読み取ること、会話文の内容を理解した上で、会話の内容に合った内容を書いて伝えること、文の構造を正しく理解して書くことに課題がある。</p> <p>今後、引き続き自分の考えを書いて伝える活動とともに、まとまりのある英文から、大切な部分を読み取ったり、概要をまとめたりする様々な読む活動の充実を図る必要がある。</p>

H28 山梨県学力把握調査 5年 国語

3

次の文では、
からそれぞれ一つずつ選んで、その番号
の言葉にどちら
夜があける。
1 明ける
2 開ける

2

次の
石をひろう。76.5%
国がさかえる。39.8%
月とたいようが出ている。81.0%

のひらがなを漢字に直

1

次の
針金を曲げる。97.5%
まどから光が差す。99.0%
便利な道具を考える。98.1%

の漢字の読みがなをひ

漢字は、85%が知っているが・・・

栄	エイ	栄養のあるものを食べる。	85.0
栄	さか(える)	文化が栄える。	31.8

● 音だとわかるが、訓だとわからない

果	カ	実験の結果をまとめる。	74.3
果	は(たす)	約束を果たす。	45.8

覚	おぼ(える)	必死にせりふを覚える。	66.6
覚	さ(ます)	毎朝六時に目を覚ます。	18.4

● 訓だとわかるが、音だとわからない

救	キュウ	救急車のサイレンが鳴る。	29.9
救	すく(う)	動物たちの命を救う。	55.9

喜	キ	喜びきを見て笑う。	37.9
喜	よろこ(ぶ)	妹が喜ぶ。	69.6

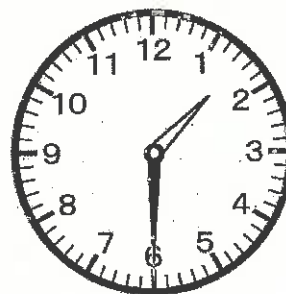
H28 山梨県学力把握調査 3年 算数

5 たけしさんは、日曜日の午後、サッカーの練習にさんかしました。

サッカーの練習が はじまったのは、右の時こくです。

サッカーの練習時間は3時間です。

サッカーの練習が おわる時こくは、午後何時何分ですか。



サッカーの練習が はじまった時こく

午後	時	分
----	---	---

(11)

3時間を1時半、2時半、3時半と考えたか

5	11	午後4時30分 と解答しているもの	61.5%	1◎
		午後5時30分 と解答しているもの	3.9%	2
		午後3時30分 と解答しているもの	11.3%	3
		午後2時30分 と解答しているもの	1.2%	4
		午後1時30分 と解答しているもの	13.3%	5
		午後1時45分 と解答しているもの	0.1%	6
		上記以外の解答	7.1%	9
		無解答	1.7%	0

問題を読んでいないか、
問題を理解していない